



Creative Application A04

メディア・サイクル - 場・表現・創発 そして場

2025年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

受講のてびき

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます. 答えのない議論があります
- ・ 前半：本日のテーマ紹介と座学
- ・ 後半：テーマを深める談義・質問・考察
- ・ 気になることをメモをしながら受講してください

資料の見方

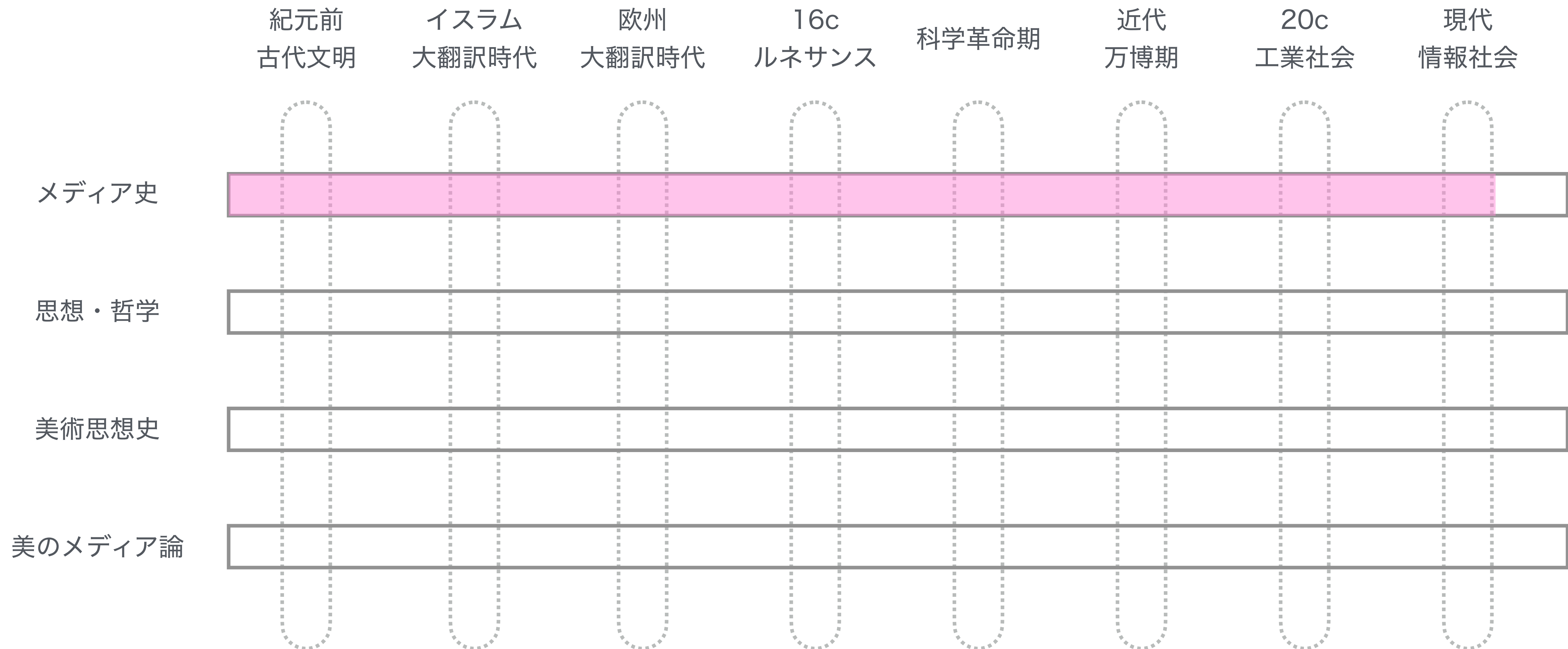
テーマに沿った項目
(座学で説明します)

左の内容に関連した
補足キーワード
(調べ物に役立ててください)

テーマ

- ▶ **メディア化のサイクルは進歩のサイクル**

今回の領域



メディア化をサイクルさせる

- ▶ **メディア・サイクル** (2020 渡邊)
 - ▶ 個が集まり交流する**場**の形成
 - ▶ 思考のつなぎと試行錯誤が生む**表現**
 - ▶ 表現の蓄積から起きる偶発的な**創発**
 - ▶ 創発から次世代の**場**へ
- ▶ **創発**：部分の総和以上の特性が全体に現われる事
- ▶ 歴史上の事例をサイクルの視点で見直す
 - ▶ どのような協働や連携が発生したか

メディア・サイクル1 - 知恵の館

- ▶ イスラム基盤の多文化交流
 - ▶ キリスト教, アラブ, ペルシャ文化の尊重
 - ▶ ギリシャ哲学奨励, イスラム解釈学
- ▶ **場**：異国人の**集結**
- ▶ **表現**：翻訳を通じた**異分野の協働, 解釈の議論**
- ▶ **創発**：「代数学」などの**連携した新分野の発生**

関連キーワード

- エフィソス公会議, ネストリウス派
- ホスロー1世, ササン朝ペルシア
- マームーン, アッバース朝イスラム帝国
- コーラン, ハディース, シャリーア
- スンナ派, シーア派, カリフ, 12イマーム, スーフィー
- アル・フワーリズミー, 「代数学」
- ユークリッド幾何, バビロニア数学, インド数学
- プトレマイオス天文学, 「アルマゲスト」

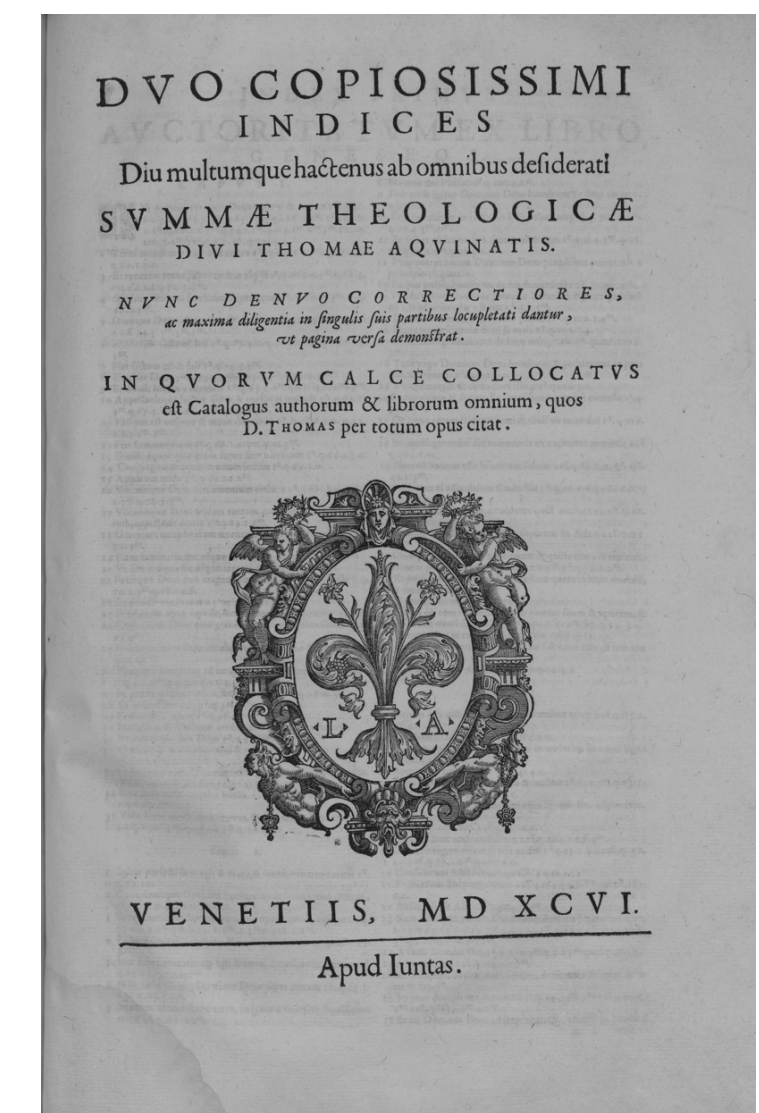


メディア・サイクル2 - 欧州翻訳時代

- ▶ 文化の逆輸入
 - ▶ キリスト教とギリシャ文化の混交
- ▶ 場：アラブ人と欧州人の交流
- ▶ 表現：翻訳による異文化の協働，解釈の議論
- ▶ 創発：スコラ哲学などの連携した新文化の発生

関連キーワード

- 第一次十字軍遠征，十字軍国家の成立
- イベリア半島，レコンキスタ
- トレド，パレルモ，グラナダ
- 尊者ピエール，バースのアデラード
- リベラルアーツ，スコラ哲学
- 大学の誕生
- トマス・アキナス，「神学大全」

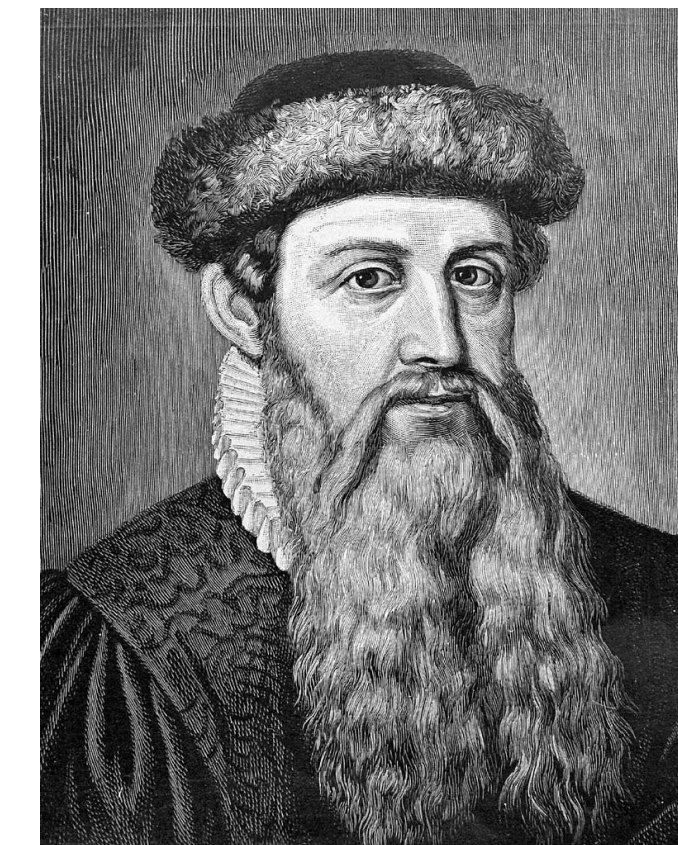


メディア・サイクル3 - イルネサンスと宗教改革

- ▶ 欧州での異文化振興と印刷技術
 - ▶ ギリシャ文化との密な接触
 - ▶ 活版印刷による知識のブロードキャスト
- ▶ **場**：アカデミアプラトニカなど**知識人が集結**
- ▶ **表現**：異文化知識を活かした**試行錯誤**
- ▶ **創発**：知識の解放による**個の思考の時代へ**

関連キーワード

- ビザンティン帝国の滅亡, ギリシャ学者の亡命
- コシモ・デ・メディチ, メディチ家
- サンドロ・ボッティチェリ
- レオナルド・ダ・ヴィンチ
- チェーザレ・ボルジア
- マルティン・ルター
- ドイツ農民戦争, プロテスタント



メディア・サイクル4 - 万博時代

- ▶ 産業革命を経て工業化を迎える
 - ▶ 1867年パリ万博, 42カ国が集結
- ▶ **場** : 世界規模の文化の**集結と陳列**
- ▶ **表現** : ジャポニズム, 印象派など**新表現の発露**
- ▶ **創発** : 表現の**文化間連携, 価値観の多様化**

関連キーワード

- サロン, アンデパンダン, クールベ, ミレー
- チューブ絵具
- 葛飾北斎, 歌川広重, 北斎ブルー
- 印象派, モネ, ルノワール, セザンヌ
- 新印象主義, スーラ, シニャック
- フォビズム, キュビズム, シュルレアリスム
- アールヌーヴォー, アールデコ, バウハウス



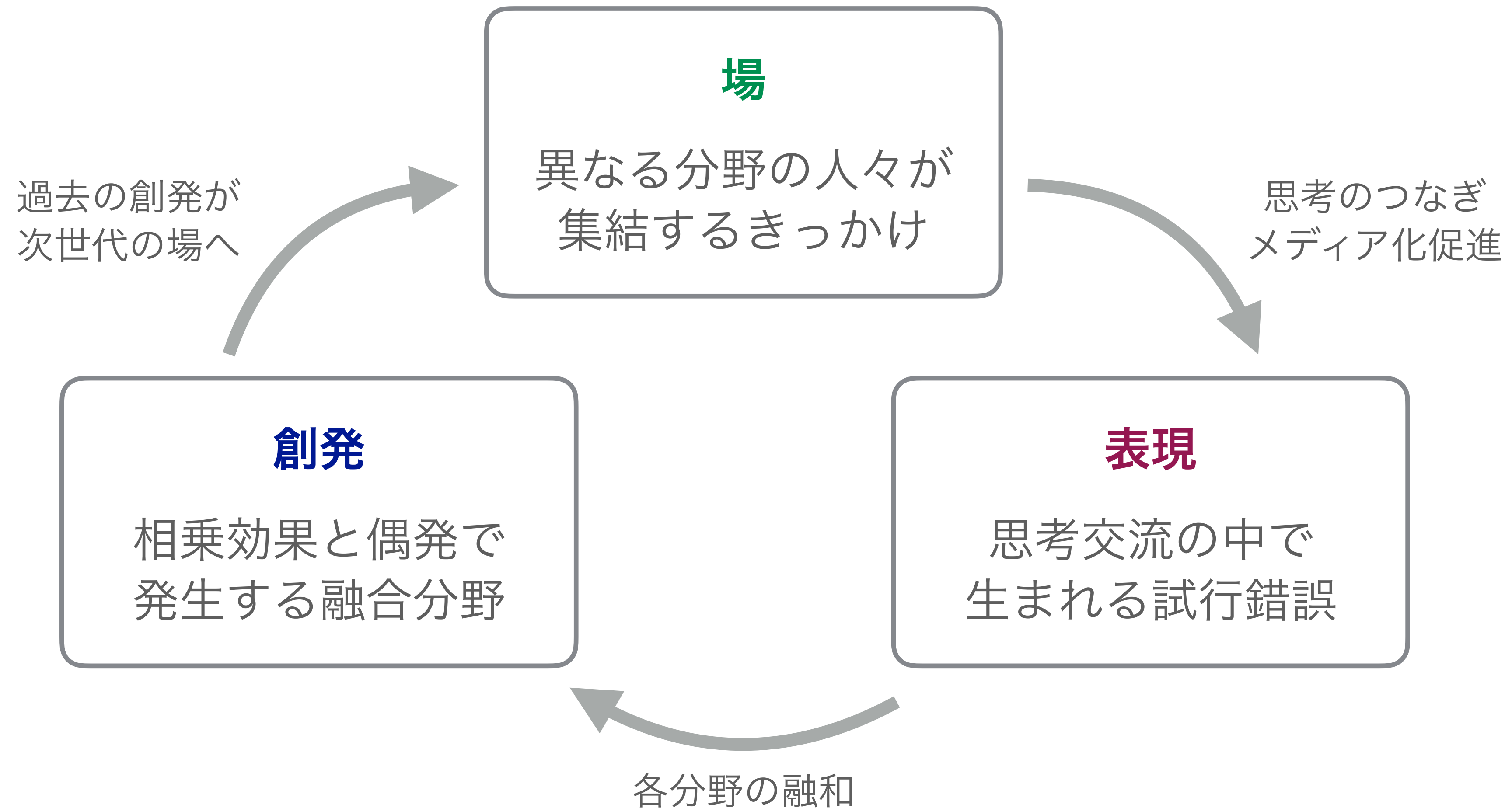
メディア・サイクル5 - 21c情報化社会

- ▶ インターネットによる世界の接続
 - ▶ 交流の時空間制約が激減
- ▶ **場**：多くの人々が**ネット世界に接続**
- ▶ **表現**：発信が容易な社会における**試行錯誤**
- ▶ **創発**：Virtualの**認識, 価値観の著しい多様化**

関連キーワード

- アラン・チューリング, エニグマ
- テッド・ネルソン, ハイパーテキスト
- アラン・ケイ, Dynabook構想, SmallTalk
- ダグラス・エンゲルバード, マウス, GUI
- 坂村健, TRON
- 相磯秀夫, 村井純, IPv6, WIDE大学
- マクルーハン, 「メディアは身体 of 拡張」
- Real, Virtual
- 存在, 実在, 無, 認識
- xR(VR/AR/MR), マルチモーダル
- 空間コンピューティング
- LLM, AIアシスタント, 生成AI
- 機械学習, シンギュラリティ

メディア化のサイクルは進歩のサイクル



メディアApp開発3 - 実装と試行のサイクル

- ▶ **試行錯誤を重ね, 実現の道筋を見出す**

- ▶ 試行錯誤は成否関わらず価値があり, 繰り返すのが肝要
- ▶ 細かなサイクルの中からAppの実相を見出す

- ▶ **実践**

- ▶ まずは実装してみる (プロトタイピング)
- ▶ 他者に伝わる表現を模索し, 表現の感性を獲得する (コミュニケーションデザイン)
- ▶ 実装したものから新たな課題点を見出す (チェック)
- ▶ 実装を繰り返し, 数をこなす (イテレーション)

本日の談義・考察一助

- a. メディア・サイクルの事例が他にあれば挙げてほしい
- b. 時代を経るごとに協働と連携の難しさが増えたように思える
この課題の解決の糸口はあるか
- c. 現在のメディア・サイクルはどんな要素で構成されるだろうか
- d. 上記に限らず、自由に質問・問題提起・雑談をしてほしい

次回予定

- ▶ **表現の蓄積・創発の継続**

参考文献

1. ウンベルト・エーコ著, 河島 英昭訳, 「薔薇の名前」, 東京創元社, 1990
2. 井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
3. 高階 秀爾, 「ルネッサンスの光と闇」, 中公文庫, 1987
4. 井上 浩一, 「生き残った帝国 ビザンティン」, 講談社文庫, 2008
5. 伊東 俊太郎, 「十二世紀ルネサンス」, 講談社学術文庫, 2006
6. 徳善 義和, 「マルティン・ルター - ことばに生きた改革者」, 岩波新書, 2012
7. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
8. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
9. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
10. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
11. 東 浩紀, 「動物化するポストモダン」, 講談社現代新書, 2001